

拾は慎重に考慮すべき事である  
(ニ)合理的服従。これ即ち道理に服従せしむると云ふことで等しく推奨し折檻するにも、宜敷理非を説き聞かせて、其道理に服従せしむるやうにせねばならぬ。此種の服従の習慣をつけるのは、最も必要なことで、且つ良好の方法である。兒童に理非の識別の出来る十一二歳の頃から、殊に此方法に依らねばならぬ。漫りに叱責し、或は威嚇して服従せしむると云ふやうな事は、害あつて益ないことである。

(ホ)感情的服従。これは兒童自身の感情より服従せしむるもので、父母兄弟等が兒童に與ふ

る深厚なる慈愛、情義等より兒童が感激して服従するのであつて、最好の方法である。かの客來

などの場席に、兒童を捉へ、客の面前で成績が劣等であるとか、或は落第したなどと云つて赤面させる様なことは父母は左まで意に留めてゐることではなからうが最も忌むべきことである。

子供は之が爲めに却つて非常な反感を起し、服従せぬやうにな

り、遂に收拾すべからざる害惡を醸することがある故、殊に注意を要する。

以上五者の中前三者は他より一種の注入的に施すものであつて、之を他律と云ひ、之に反して兒童自身が眞の服従心を喚起するのを自律と云ふ。常に兒童をして此自律的方面に向はしめるやうに教育することは最も肝要である。(『兒童研究』第二十卷第一號)

### 四三 學童體格標準率の必要

——(體格改善の爲め)——

國民の體格問題に關し學術上に於ては近來ユーゼニツクスなどの研究もあり、各國とも改良

方法に就て攻究してゐるが、我國に於ても夙に識者間の問題となり、最近には一般社會の注意

を惹くやうになつて來た、此時勢の傾向は文部省をして小國民體育獎勵の一方法として全國學童の體格檢査表を作製せしめるに至つたが、之に就き、其實地調査を囑托されてゐる古瀨醫學士は次の如く語つた『此事は數年前から計畫を立てゝゐたのであるが、如何にして全國學童の標準體格を知り得べきかに就て種々攻究した結果、本年三月略ぼ標準となるべき身長、體量及び體格の強、中、弱、等の數字を得て、之を全國各府縣に示す事が出來た。之に對し目下各府縣から調査の報告が集まりつゝあるが、此標準率は高過ぎると云ふ説と、適度だといふ説との

二つの意見があつて、本年九月頃には全部報告を纏めて、確實な標準を作り出せる筈である、體格檢査の標準率を初めて作つたのは獨逸で、之を模倣したのが米國である、米國の學校では毎年學童體格檢査の際學童各自の記入カードに全國平均の標準數字を刷り込んで、之と對照せしめる便宜を取つてゐる、我國の體格檢査は普通其學校だけの標準で律してゐるが、假に一般の標準率と比較し得るとしても從來は極めて不正確を免れ得なかつた又體格の差違は地方の風土、生活狀態等に依て生ずるもので一般に山地は海岸に比し身長體量共に劣るのが事實だが、

其原因に就ては種々議論があるけれども、歸する所食物の良否が根本で、之は海岸の方が一般に優つてゐるからである、併し海岸でも土佐、薩摩、琉球等は身長が低く、琉球の七歳の子供は東京の六歳の子供と同じ位である、又都會の子供には低能でも白痴でもないのに、一般の健康な子供と同様教育の出來ないのが百分の三乃至五の割で交つてゐる、之は結核先驅症、貧血症等の爲で、之等の者に對しても目下の日本では別に特殊教育の施行法が行なはれてない、獨逸あたりでは此種の兒童に對しては最も多く空氣と水と日光とを利用し得る屋外教育を施す事

になつてゐる、獨逸が此度の大戰で、大敵を相手にして異數の勢力を現はし得るのも、一は平素斯る微妙なる點に注意が届いてゐたからである、吾國の都市に於ても早晚此必要は痛切に感ぜられるのであらうが、兎も角も體格の統一的標準と云ふ事は衛生行政上、國民の體格増進上最も必要な事である』云々。

(萬朝報八月三日)

A。あなたは何故保母におなりになりましたか？

B。種々な理由がございましたが何よりも先づ主なる理由は子供が好きでしたからでございます。

A。今でもお好きですか？

B。ハイ。

A。これからお好きでおいでせうか？

B。益々好きになつて行くらうございます。

A。あなたば非常に幸福な方だと思ひます。

B。私はこの頃、切りに人間は何うしても眞面目でなければいけないといふことを感じます。今では子供を相手に愛と眞實とを目掛けて進んで行くより他には力弱い私に對して、開かれて居る道がないやうに思はれます。私のこの考を夢だとお笑ひ下さるでせうか。

A。イ、エ、何う致しまして、あなたをお羨しく思ふばかりです。